



— 本日のプログラム —

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆卓話 輪島公共職業安定所長 渡邊 稔氏
テーマ『公正な採用選考について』

第2825回例会（8月9日）報告

司会 渡辺玉嬋 S A A 副委員長

- ◆開会点鐘 久岡政治副会長
- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆会長の時間 久岡政治副会長
「国旗掲揚と国歌斉唱」

日本のロータリークラブは、例会場には国旗が掲げられ、毎月の第一例会では国歌を斉唱します。

第2次大戦の開始前後、米国発祥のロータリークラブは米国のスパイではないか、フリーメーソンの一味ではないかという疑いを持たれました。その疑いを晴らすため、国に忠誠を誓うことを示す意味で、例会では国旗を掲げ、国歌を歌い、それが習慣化して今に至ったというのが通説です。

当時は例会の度に特高（特別高等警察）が来て、例会を監視したそうです。それだけに、1935年に作られたロータリーソング、“御国に捧げん我等の業、望むは世界の久遠の平和”という言葉を含む「奉仕の理想」も盛んに歌われたそうです。

米国では、集会の場での国旗掲揚や国歌斉唱は一般的です。米国は移民の集まりなので、米国人であるという自覚を持たせるためにも必要なのでしょう。しかし、最近の米国のロータリークラブでは、例会場に国旗は掲げているものの、国歌斉唱やロータリーソング合唱はしなくなったクラブが多いそうです。また、米国以外の外国にしても、ロータリークラブの例会で習慣的な国旗掲揚や国歌斉唱、ロータリーソング合唱などはしないクラブが少なくありません。

・日本のロータリーソング

ロータリーソングは、現在、世界で140曲以上あるそうです。日本のロータリーソングで最もよく歌われていて、かつ最も古い「奉仕の理想」と「我等の生業」は、1935年（昭和10年）、京都の地区大会で発表されたものです。

「奉仕の理想」は、作詞は前田和一郎（京都RC会員、都製薬所社長）で、作曲は萩原英一（東京RC会員、東京音楽大学教授）です。

「我等の生業」は、作詞が高野辰之（東京音楽大学教授）、作曲が岡野貞一（東京音楽大学元教授）です。実は、二人ともロータリアンではありません。そればかりか、この二人は唱歌「ふるさと」をはじめ、「春の小川」、「春が来た」、「おぼろ月夜」、「紅葉（こみじ）」などの歌で、作詞・作曲の名コンビでした。

- ◆幹事報告 刀祢正章副幹事
・中島RCより活動要覧を拝受。

・次週8月16日(火)はお盆の為、休会となります。また、8月23日(火)の例会は、ホテルこうしゅうえんで開催させていただきます。

- ◆出席報告 山上剛史出席・ニコニコBOX副委員長

8月9日の暫定出席率：64.29%

(出席18名、欠席10名)

7月26日の確定出席率：89.29%

(出席19名、欠席9名、メイク加算6名)

◆ニコニコBOX報告 山上剛史副委員長

・大西さん、親睦活動についての勉強会を楽しみにしています。 田谷昭宏会員

・大西親睦活動委員長、勉強会を楽しみにしています。段駄羅大会で今年3回目の第一席を頂きました。

徳野喜一郎会員

・お盆も近づき人の集まりが増えますが、皆さんコロナに気を付けてネ。 東野秀人会員

・大西さん、今後共よろしく願います。

山上剛史会員

◆卓話 大西哲雄親睦活動委員長

テーマ『親睦活動委員会による勉強会』

日本で関東大震災が起きた1923-24年度の国際ロータリーの会長はガイ・ガンディカーという方で、東京の災害復興に多大な貢献をしました。この会長は、「良き親睦は、決してロータリーのすべてではないのであって、良き親睦は、ロータリーという苗木が根をおろし、成長するための土壌をなしているのである。」という、非常に感慨深い言葉を残しております。

そして、この良き親睦を形成するものとして7つ上げています。

1. 真心のこもった握手
2. 姓ではなく、名前で呼び合うこと
3. 歌の合唱を行うこと
4. ある種の、ウイットに富んだ行動
5. 各会員相互間に行われるその他の親切
6. 議長、同僚たる会員および招待者に対する礼儀正しい行動
7. 老練な企業経営者にして始めてできる、紳士の振る舞いと思慮深さ



- ◆閉会点鐘 久岡政治副会長
〔編集：古川 豊会員〕